

研究実施のお知らせ

2023年6月27日 ver.2.0

研究課題名

母親のネット依存が子どもの発育・発達に与える影響—後ろ向きコホート研究—

研究の対象となる方

2016年4月1日～2017年9月30日の間に、松江市へ妊娠届出をし、お子様が松江市の4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を受けられた方、5歳児健診1次スクリーニングアンケートに回答された方。

研究の目的・意義

近年のインターネットの急速な普及により、インターネットに触れていないと不安に感じるといった「ネット依存」が問題視されています。

本研究では、母親がネット依存の場合、子どもの発育・発達にどのような影響があるのかを明らかにします。母親のネットの適正利用を啓発する上で、研究結果を役立てることができると考えています。

研究の方法

利用する情報は、松江市で保管されている妊娠届出時データ、新生児訪問時データ、出生状況時データ、4か月児健康診査・1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査のデータです。お母様に行ったネット利用アンケート・エジンバラ産後うつ質問票・赤ちゃんへの気持ち質問票の結果と、お子様の体重・身長、食習慣、発達状況、メディア使用時間、虫歯や不慮の事故の有無、予防接種の状況、お子様の行動特性（5歳児健診1次スクリーニングアンケート結果）等の情報を基に、分析を行います。

個人が特定されないように、氏名・住所・地区名・生年月日を削除した状態で、松江市から島根大学に情報提供されます。データにはパスワードをつけ、上書きできないCD-Rに保存したものを研究責任者が対面で受け取ります。

研究の期間

2021年11月25日～2027年3月31日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部看護学科地域・老年看護学講座 榊原 文

既存の情報の提供のみを行う機関

[提供機関]

松江市こども家庭支援課

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023年11月末日までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部看護学科 地域・老年看護学講座 榊原 文

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2337 FAX 0853-20-2337

情報提供機関：

松江市こども家庭支援課 子育て保健係

〒690-0045 松江市乃白町 32-2 松江市保健福祉総合センター1階

電話 0852-60-8155 FAX 0852-60-8160